

芹ヶ谷公園“芸術の杜”推進事業について 2025 年度予算<美術館事業>の白紙を求める請願

請願要旨

(仮称) 町田市立国際工芸美術館の整備工事については 2023 年、参加者がいない、参加者がすべて辞退したという理由で、入札が 3 回不調に終わりました。その後、2023~2024 年度に 2000 万円以上をかけて CM 事業が導入され、2024 年度予算を 10 億円増額したうえで、4 回目の入札が行われました。4 回目は落札されたものの、2025 年、落札者からの仮契約解除の申し出があり、本契約がなされませんでした。これは明らかに異常事態です。しかし町田市は、事態の検証をすることなく同工事の着工スケジュールを延期し、ほかの建物や設備の工事もほぼ予定通りに進めようとしています。今重要なのはいったん立ち止まり、計画の抜本的な見直しをすることです。そのため美術館事業である「芹ヶ谷公園“芸術の杜”推進事業業務委託料」

「(仮称) 国際工芸美術館整備工事修正設計業務委託料」「(仮称) 公園案内棟/喫茶/版画工房/アート体験棟整備工事再積算業務委託料」「(仮称) 公園案内棟/喫茶/版画工房/アート体験棟整備工事」

の事業費を白紙にすることを求めます。

工芸美術館建設の事業予算について、議会での審議の経緯は概略以下の通りです。

- ・ 2016 年当初計画の事業（工事）費約 32 億円／床面積 3,000 m²が議会で否決（高額な事業費等の為）。
- ・ 2020 年度段階の見直し計画では工事費約 40 億円（工芸美術館 28.5 億円／床面積 2,150 m²、版画美術館改修費 3.5 億円、体験ステージ 8 億円）と当初計画より高額だが議会で採択（がけ地での建設で、当初計画より高額な工事費だが容認され採択）。
- ・ 2023 年 3 月、工芸美術館のみの事業（工事）費 28.5 億円／床面積 2,150 m²、がこの間の物価上昇を理由に 33.3 億円へと 4.8 億円増額。
- ・ 2024 年 3 月、工芸美術館の事業（工事）費が前年の 33.3 億円から 43.8 億円へ 10 億円を超え増額。
- ・ 今回の予算組み（2025 年 2 月公表）では従来の方針が変更され、公園案内棟/喫茶/版画工房/アート体験棟の工事費約 14.5 億円が別個に計上（従来は PFI 事業の一環で計上）。ただしこれらの施設も 2020 年度段階 8 億円→2023 年 6 月議会 9.3 億円→今回 14.5 億円と増額化している。
- ・ 加えて、2023 年の工芸美術館工事 1 回目の入札不調以降、プロポーザル支援・CM 業務、そして今回の方針変更による修正設計や再積算（2025 年度予算概要説明書 61 頁の（仮称）国際工芸美術館整備工事修正設計業務委託料（仮称）、公園案内棟/喫茶/版画工房/アート体験棟整備工事再積算業務委託料）など、累計約 3600 万円の資金や予算が計上されている。

請願項目

2025 年度予算概要説明書 61 頁（2025 年 2 月公表）「芹ヶ谷公園“芸術の杜”推進事業」のうち<美術館事業>「芹ヶ谷公園“芸術の杜”推進事業業務委託料」「(仮称) 国際工芸美術館整備工事修正設計業務委託料」「(仮称) 公園案内棟/喫茶/版画工房/アート体験棟整備工事再積算業務委託料」「(仮称) 公園案内棟/喫茶/版画工房/アート体験棟整備工事」

の事業費の白紙を求めます。

を にすること